

PDCA サイクル

アンソニー渡辺

会社^{かいしゃ}において改善^{かいぜん}は重要^{じゅうよう}だと考^{かんが}えられており、PDCA サイクルは改善^{かいぜん}をすすめるのに必要^{ひつよう}だ。製品^{せいひん}を改善^{かいぜん}する努力^{どりよく}の方法^{ほうほう}として、日本の多くの会社がPDCA サイクルを導入^{どうにゅう}している。

PDCA サイクルは、Plan（計画^{けいかく}）、Do（実行^{じっこう}）、Check（評価^{ひょうか}）、Act（改善^{かいぜん}）の4つのステップから成^なる。もともと、アメリカのコンサルタントが1940年代^{だい}に考えた。1950年代^{だい}に日本で広^{ひろ}まった。最初のステップである「計画^{けいかく}」は、会社^{かいしゃ}の問題^{もんだい}を定義^{ていぎ}し、改善^{かいぜん}のプロジェクトを計画^{けいかく}することである。2番目のステップは「実行^{じっこう}」であり、ここで計画^{けいかく}が実際に実行^{じっこう}に移^{うつ}される。ここでは、従業員^{じゅうぎょういん}が自分のそれぞれの社員^{しゃいん}が自分の役割^{じぶん やくわり}を理解^{りかい}し、プロジェクトを実行^{じっこう}し、後^{あと}で見直^{みなお}すことができるように問題^{もんだい}が何^{なに}かを書^かき残^{のこ}す。

3番目のステップは「評価^{ひょうか}」である。ここでプロジェクトの目標^{もくひょう}が達成^{たっせい}できたかどうか、データ^{で た}をチェックする。最後のステップは「改善^{かいぜん}」である。このステップでは評価^{ひょうか}の段階^{だんかい}で見つかった問題^{もんだい}を特定^{とくてい}する。改善^{かいぜん}すべき問題点^{もんだいてん}を明確^{めいかく}にし、次のPDCA サイクルに組^くみ込^こむ。

PDCA サイクルの例^{れい}を1つ挙^あげる。例^{れい}はレストランのサービス改善^{かいぜん}。最初のステップは「計画^{けいかく}」である。料理^{りょうり}を注文^{ちゅうもん}する列^{れつ}が非常^{ひじょう}に長^{なが}くなっている。お客様^{きやくさま}の待ち時間^{まち}を減^へらすために、タブレットで注文^{ちゅうもん}を試^{ため}すことにする。2番目のステップは「実行^{じっこう}」であり、従業員^{じゅうぎょういん}にタブレットの使い方^{せつめい}を説明^{せつめい}する。タブレット注文^{ちゅうもん}を1週間^{しゅうかん}テストする。毎日^{まいにち}、お客様^{きやくさま}の待ち時間^{まち}のデータを書^かく。3番目のステップは

「評価」であり、1週間後で、お客様の待ち時間が短くなったを調べる。アンケートで使いやすいを確認する。全部データを調べる後で、4番のステップは「改善」であり、データが良いければ、タブレットを使う。もし、データが悪い、問題があれば、タブレットを使わない。後で、このサイクルを繰り返して、このレストランのサービスをどんどん良くしていく。

PDCA サイクルにはメリットがある。第一に会社全体で税品やサービスの継続的な改善を進められることだ。第二に PDCA サイクルはシンプルでわかりやすいにもかかわらず、変更と改善を加える方式として非常に優れている。第三に難しい状況を小さな部分に分割し、PDCA サイクルを回すことで、順を追って解決していくことができる。このサイクルは、全員をまとめる役割もある。それぞれが役割を担うことで、チームワークが向上し、従業員の自信と会社への忠誠心が高まる。

一方、PDCA サイクルにはデメリットもある。第一にこのサイクルは社員全員の大きなコミットメントを必要とすることだ。第二にこのサイクルは、変化が見えるようになるまで何度も繰り返さなければいけない。第三にサイクルは様々な状況で使えるかもしれないが、緒中でほかのものを足したり、変更を加えたりするのにあまり柔軟に対応できない。第四に大きな改善をするのではなく、小さい改善をしているので、いつ止めて、次の問題と改善に移るのかを決めるのがとても難しい。

日本の文化で PDCA サイクルが大切なのは、「カイゼン」と呼ばれる日本の経営哲学に非常に沿って作られた仕組みだからだ。Kai は「変化」、Zen は「善」を意味するので、Kaizen は「より良い変化」を意味し、英語の辞書では「改善継続」と訳されている。多くの日本の会社がこの経営哲学に従っているため、PDCA サイクルも広く使われるようになったのだと思う。また、日本の会社は、一貫して高品質の製品

をつくることを目標とするため、PDCA サイクルは、製品が高い品質に到達するまで小さい改善を繰り返すのに役立つ。

PDCA サイクルは継続的な改善ができるようにする仕組みだ。日本のビジネスにとって、PDCA サイクルは、カイゼンの考え方や高い品質の製品を作るために必要だ。

Works Cited

<https://www.lean.org/lexicon-terms/pdca/#:~:text=PDCA%20is%20the%20foundation%20of,evaluate%20performance%20against%20the%20target.>

<https://www.investopedia.com/terms/p/pdca-cycle.asp>

<https://fieldcheck.biz/library/what-is-pdca.html>

<https://asana.com/resources/pdca-cycle>

<https://www.workpath.com/en/magazine/pdca-cycle>

<https://medium.com/@lydiabilodeau79/what-are-the-advantages-and-disadvantages-of-the-plan-do-study-act-as-a-quality-improvement-72530ce1c16e>

<https://www.e-sales.jp/eigyo-labo/pdcacycle-1071>

<https://www.profuture.co.jp/mk/column/32045#PDCA%E3%82%B5%E3%82%A4%E3%82%AF%E3%83%AB%E3%81%AE%E5%85%B7%E4%BD%93%E4%BE%8B>

<https://slack.com/intl/ja-jp/blog/transformation/how-can-we-successfully-implement-the-pdca->

cycle#:~:text=PDCA%20%E3%82%B5%E3%82%A4%E3%82%AF%E3%83%AB%E3%81%AF%E5%AE%9F%E8%A1%8C%E3%81%A8,%E3%81%A8%E3%81%AF%E9%99%90%E3%82%8A%E3%81%BE%E3%81%9B%E3%82%93%E3%80%82